

事務事業チェックシート

事務事業No
1062

事業名
大学地域連携事業

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜き子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	2	高等教育機関の充実と連携強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		企画調整費	
	大事業		企画調整事業	
中事業		大学地域連携事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	平成23年度	～	無し	
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山市と和歌山大学が緊密な連携・協力関係を構築し、産業・経済・教育・文化・行政等総合的分野での地域の振興と活性化に貢献する。		「和歌山市・和歌山大学地域連携推進協定」に基づき和歌山大学との連携を推進する。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		・公開講座「まちかど楽交」 ・人事交流 ・インターンシップ ・広報連携 など	・公開講座「まちかど楽交」 ・人事交流 ・インターンシップ ・広報連携 など	・公開講座「まちかど土曜楽交」 ・ワダイノカフェ」の実施	・公開講座「まちかど土曜楽交」 ・ワダイノカフェ」の実施	・公開講座「まちかど土曜楽交」 ・ワダイノカフェ」の実施

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	887	849	509	466	160	144	158	0	158	0
伸び率(%)	△0.4%	△1.6%	△42.6%	△45.1%	△68.6%	△69.1%	△1.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,829	2,782	1,915	1,915	1,839	1,839	1,839	0	1,839
	正規職員以外	1,892	2,156	2,180	2,180	1,591	1,591	1,591	0	1,591
	小計	3,721	4,938	4,095	4,095	3,430	3,430	3,430	0	3,430
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	887	849	509	466	160	144	158	0	158	0
所要人数(人)	正規職員	0.23	0.35	0.24	0.24	0.23	0.23	0.23	0.00	0.23
	正規職員以外	0.86	0.98	0.96	0.96	0.67	0.67	0.67	0.00	0.67
主な予算内訳	公開講座委託料 137千円、会場その他借上料 23千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	「まちかど楽交」の開催回数	回	目標値	36	21	10	10	10
			実績値	33	23	10		
			達成度(%)	91.7%	109.5%	100%	%	%
成果指標	「まちかど楽交」の参加者数	人	目標値	800	470	230	220	220
			実績値	522	358	138		
			達成度(%)	65.3%	76.2%	60%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>まちかど楽交とは、和歌山大学が有する人的資源、知的資源を活用し、“和歌山を学ぶ”を基調テーマに、平成23年度から実施している事業である。小学校高学年対象の「まちかど土曜楽交」では、大学のキャンパスや市役所を会場に、大学生が講師として参加するため、小学生にとっては、大学生をはじめとしたさまざまな人との貴重な交流の場となるほか、和歌山への愛着の醸成に繋がるとともに、大学生にとっても教育実践の場となるなど、両者にとってメリットがある事業である。「ワダイノカフェ」は、“宇宙”“歴史”その他幅広いテーマで、中学生～一般を対象に、まちなかのカフェなどで講座を開催する。</p> <p>今後は、より多くの方が参加できる内容とすることや開催場所等の見直しは必要であるが、コスト増とならないよう配慮しつつ、事業としては充実の上継続していくことが妥当であると考え。</p>
見直し・改善内容	<p>まちかど土曜楽交については、できるだけ多くの小学生が参加できるように、市役所や大学キャンパスに限らず、開催場所等を検討するとともに、両組織の広報担当部署や教育委員会、マスコミ等も活用の上、幅広く周知を行いたい。</p> <p>ワダイノカフェのテーマについては、引き続き、市民の方々のニーズに沿ったテーマ展開をする。</p>